登録作家は今?!……個展等を中心に作家の皆さんの創作活動をピックアップ!

今回は、アートビリティ大賞選考委員、第3回アートビリティ大賞受賞、登録作家、小池誠(こいけまこと)さんの活動を紹介します!

2013年5月、アートビリティ登録作家の小池誠さんの個展「小池誠プチ個展～宇宙・生命をみつめて・求めて～」が、小池さん地元長野県で行われました。小池さんと原画やアトリエを見せて頂けるということではるばる長野を訪ねました。

会場:「ミュージックアートカフェ クイーン」
長野県下伊那郡高森町牛牧461-3

小池さんは、現在お母様の介護をされながら、ご自宅で作品制作をされています。アートビリティの登録作家でもあり、審査員でもある小池さん。定例審査会の審査員たちに有無も言わせない大作の数々に出会えると思うと、心が高まりました。

高速バスに揺られること4時間。飯田駅に着くと、小雨のしたたるお天気ではありましたが、小池さんと共に清々しい新緑の広がる山々に出迎えていただきました。

まずは、小池さんにご自宅兼アトリエを案内していただきました。

小池さんご自身で設計された、平屋で広々としたお宅には、小池さんの日々の運動・リハビリに使用しているという長い廊下が現れます。そして、そこを通り抜けると、いよいよアトリエです。アトリエには、小池さんの原画はもちろん、アンモナイトや不思議な動く魚のおもちゃの数々等、作品で出会ったことのある?!ゆかいな仲間たちがたくさんいました。その仲間たちを面白いと、方言まじりに無邪気に動かして下さる小池さん!ワクワクが止まらないひとときでした。また、何十冊にもなろうかという、小池さんのアイディアの源ともいえるスケッチブック。まるで歴史上の貴重な古書を目の当たりにした気持ちになりました。

そんな名残惜しいご自宅をあとに、今回のプチ個展の会場でもあります、「ミュージックアートカフェ　クイーン」へ向かいました。小池さんは、地元でも有名人!会場には小池さんに会えることを心待ちにしていた、観覧車が大勢訪れていました。店内はアーティスティックでアットホームな空間。その空間に小池さんの作品が優しく存在感を放っていました。優しく存在している作品の数々ですが、観れば観るほど、その世界観に力強く引き込まれていきました。

滞在時間は、わずか5時間でしたが、貴重な時間に浸りながら、今やアートビリティ登録作家を代表するともいえる作家訪問が終わりました。小池さんのお人柄と作品に改めてたくさんパワーを頂き、足取り軽く東京へ帰宅しました。

❶個展を終えてのコメント

母を在宅介護しながらの個展でしたので、なかなか作品が制作できなくてプチ個展という形にしました。会期中は母をショートステイにお願いしたので個展に集中することができました。5月の大型連休をはさんでの会期で、今までお世話になった方達と久しぶりにお会いすることができ、また新しい出会いもあって、それなりに有意義な一時を過ごす事ができました。良い気分転換ができました。

❷作品制作（日々制作のペースや、現在描きたいもの等）

母を介護しながらなのでなかなか制作時間が取れず全盛の頃の1/4位のペースですが、それでも人間社会の流行に惑わされないよう大きな宇宙や生命、また人間の心を見つめ・求めながらその核心に少しでも触れるような作品を制作したいと思っています。

❸現在目指している事柄等

年齢的にも50歳半ばになり、将来的に自分の仕事を大きな視野の中で総体的にまとめ残したいという思いがあります。新たな世界を探究、創作すると同時にそこら辺も目指しながら今後の仕事を展開して行きたいと思っています。

❹アートビリティに対する メッセージ

私は18歳で病気になりハンディを持つ身となり、長い闘病生活を経てこの世界に入りました。駆け出しの頃はいろいろな面で本当に大変でした。この頃にアートビリティ(当時は障害者アートバンク)に出会い、本当に助けてもらい、私は心身・経済共に救われ、将来に向け一筋の光を見つけ出すことできました。その後アートビリティでの活動が支えとなり、また多くの方達に助けてもらいながら今の私を築くことができました。これからも、益々アートビリティが、現在活躍している登録作家の皆さん、そして、今夢を抱いて作品を生み出して行こうとしているハンディを持った方達の心身や経済的な支えになれることを切望します。そして更に、ハンディを持った方達だけでなく社会全体にとっても大きな光、支えになれることを願ってやみません。

（プロフィール）

1957年　長野県生まれ、長野県在住。
1990年　紀伊國屋画廊にて初めての個展開催後、駒ヶ根高原美術館、銀座松屋など各地で個展、グループ展を開催。
その洗練された技術を誇る作品の数々は高い評価を受けている。
また、エッセイなどの執筆活動でも活躍され、メディア取材も数多い。
2007年　イブニング信州特集「“生命の証”を描く」放映(NHK長野)
第7回国際アビリンピック「ポスターデザイン部門」日本代表として出場、審査員特別賞受賞(静岡)
「成績優秀技能者」として県知事表彰(長野県知事)
2008年　84回白日展入選、‘9年共に入選。‘10年以降無審査(国立新美術館)
2009年　「信州美術作家展～創造の表現(駒ヶ根高原美術館)
2010年　個展・キング堂ギャラリー/個展・銀座スルガ台画廊を開催。
2013年　小池誠プチ個展開催。
「水をめぐる旅-やまなしの美術館大全」山梨県立美術館　出展。